

国立国際医療研究センター国府台病院 糖尿病内分泌代謝内科



国府台病院糖尿病内分泌代謝内科は日本糖尿病学会認定教育施設であり、指導医4人、専門医4人が所属し、毎日外来を行っております。外来患者数も2000人前後で、DPC病院の中では二次医療圏（千葉県）で最も糖尿病内科の入院患者数が多い病院です。1型、2型糖尿病はもちろん、糖尿病性ケトアシドーシスなどの急性期合併症、感染症や心不全などの併存症、糖尿病性ケトアシドーシス、周術期血糖管理など対応しております。

外来での合併症評価や教育入院、フットケアにも力を入れております。医師の他にも、日本糖尿病療養指導士（CDEJ）、地域糖尿病療養指導士（CDEL）、フットケアの資格を持つ看護師、リハビリ科スタッフ、栄養士、薬剤師と共に個々の患者さんについて話し合いながらチーム医療を行っております。

内分泌疾患については、甲状腺疾患（バセドウ病、橋本病、甲状腺結節、甲状腺腫瘍）、副甲状腺疾患、副腎疾患などの検査・加療を行っており、必要に応じてCT検査やシンチグラフィを用いた精査を行っております。

